





いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。 JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に 少しでも役に立つ情報をお届けさせて頂きます。

早く耕起→プリグロックスL→除草剤→除草剤 大豆あとの小麦播種 イタリアンライグラス対策

12月上中旬頃

大豆を収穫したらすぐに耕起した

耕起して1か月そのまま放置

1月上中旬頃 播種3日前



フリグロックスL散布で 雑草を枯らす



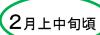


1月上中旬頃

小麦播種 播種量を増やす(15kg/10a)



播種後に 除草剤散布(ボクサー)





播種1か月後(小麦2葉期) 除草剤散布(リベレーター)

小麦収穫 6月下旬頃を目指します。 耕起して1か月間そのまま放置することで、 雑草イタリアンライグラスを出芽させます。 生えてきた雑草を枯らすために、小麦播種3日前に **プリグロックスL**を散布します。

《プリグロックスL》

気温に影響されず、光の量で枯らすので、 寒い時期でも大きくなった雑草をすばやく 枯らすことができます。

10a散布量 水100ℓ+薬1ℓ(100倍液)

耕起してから1か月の間 播種作業を待つため

どうしても播種時期が遅れます。

播種後2回 除草剤を散布!

生育量を確保するために播種量を増やします。

小麦播種量の目安 15kg/10a

播種後の土壌処理型除草剤は、2回散布します。

除草剤1回目 播種後に ボクサー

10a散布量 水100ℓ + 薬500ml



除草剤2回目 1か月後に リベレーター

10a散布量 水100ℓ + 薬80ml

※ 約1か月後から除草効果が切れ始め、 2回目の除草剤を追加散布。 後から発生した雑草を防除します。

